

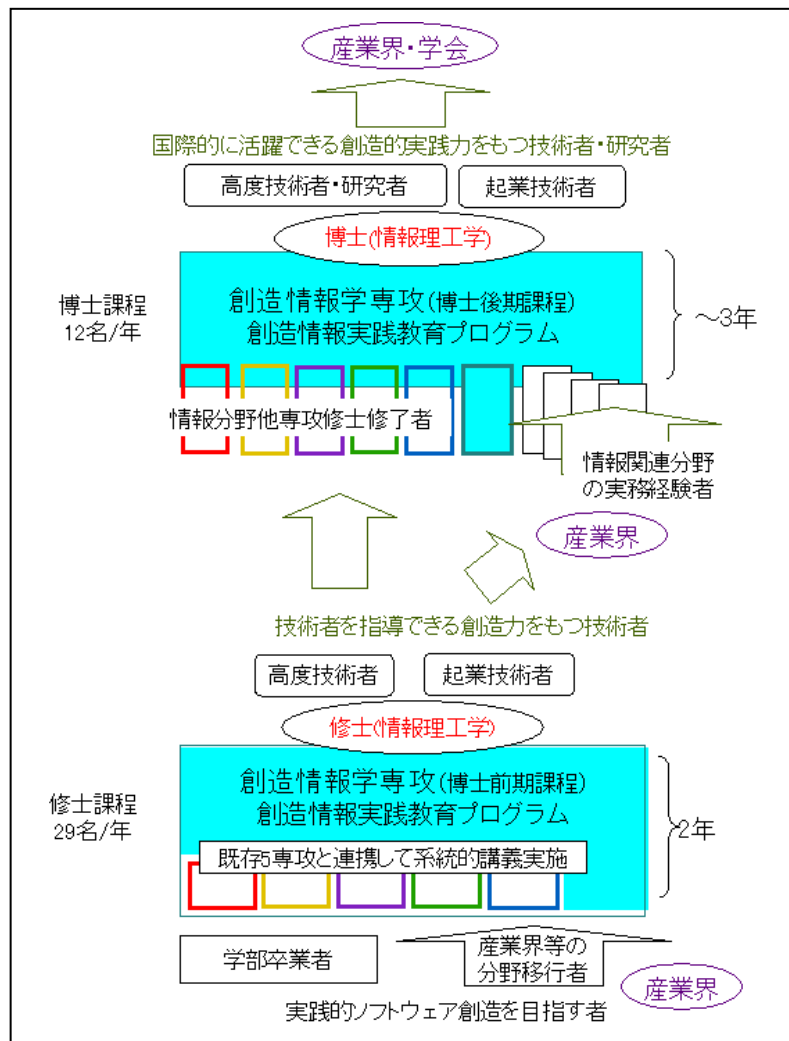
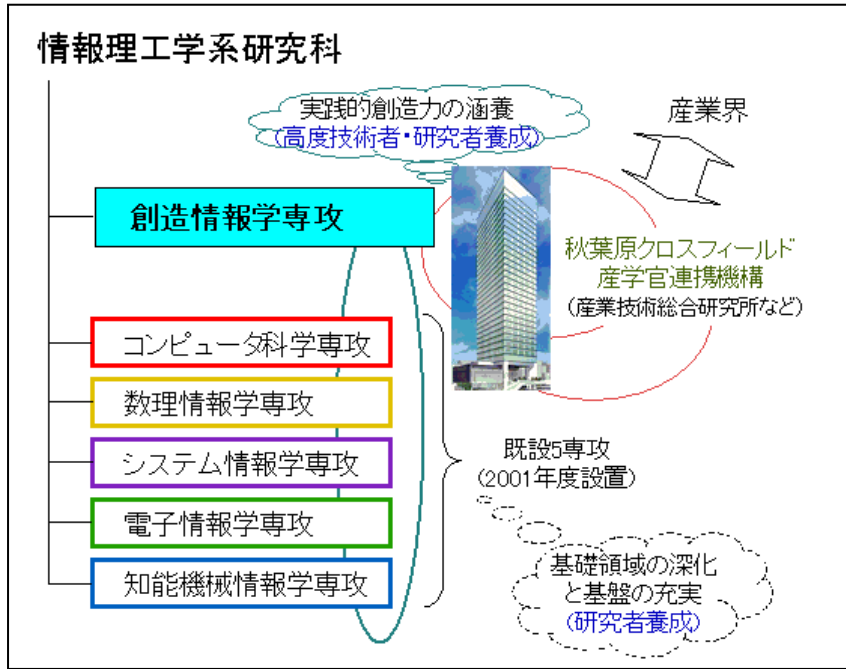
平成17年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 教育プログラム及び審査結果の概要

◇「1.申請分野(系)」～「6.履修プロセスの概念図」:大学からの計画調書(平成17年7月現在)を抜粋

| | | | |
|---|---|-----------------------------|------|
| 機 関 名 | 東京大学 | 整理番号 | b009 |
| 1. 申請分野(系) | 理工農系 | | |
| 2. 教育プログラムの名称 | 創造情報実践教育プログラム | | |
| 3. 関連研究分野(分科) (細目・キーワード) | 主なものを左から順番に記入(3つ以内) 情報理工学、ソフトウェア | | |
| | 主なものを左から順番に記入(5つ以内) (情報科学技術、実践ソフトウェア創造、情報ネットワーク、知能システム創造、知能ロボティクス) | | |
| 4. 研究科・専攻名 及び研究科長名 ([]書きで課程区分を記入、 複数の専攻で申請する場合は、 全ての研究科・専攻を記入) | (主たる研究科・専攻名) 情報理工学系研究科・創造情報学専攻[博士前期課程] 情報理工学系研究科・創造情報学専攻[博士後期課程] | 研究科長(取組代表者)の氏名 武市 正人 | |
| | (その他関連する研究科・専攻名) 情報理工学系研究科・コンピュータ科学専攻[博士前期課程]、情報理工学系研究科・コンピュータ科学専攻[博士後期課程] 情報理工学系研究科・数理情報学専攻[博士前期課程]、情報理工学系研究科・数理情報学専攻[博士後期課程] 情報理工学系研究科・システム情報学専攻[博士前期課程]、情報理工学系研究科・システム情報学専攻[博士後期課程] 情報理工学系研究科・電子情報学専攻[博士前期課程]、情報理工学系研究科・電子情報学専攻[博士後期課程] 情報理工学系研究科・知能機械情報学専攻[博士前期課程]、情報理工学系研究科・知能機械情報学専攻[博士後期課程] | | |
| 5. 本事業の全体像 | | | |
| 5-(1) 本事業の大学全体としての位置付け(教育研究活動の充実を図るための支援・措置について) | | | |
| <p>東京大学は、世界のリーディング・ユニヴァーシティとして、大学院教育において「多様な専門分野に展開する研究科、附置研究所等を有する総合大学の特性を活かし、研究者および高度専門職業人の養成のために広範な高度専門教育システムを実現する」(東京大学憲章)ことを使命とし、中期目標・中期計画においては、「未踏の領域に果敢に挑戦する開拓者精神に富んだ国際的に活躍できる研究者および社会の先頭にたつ人材の養成」を大学院教育の目標に掲げている。東京大学は、こうした観点から、今回の「魅力ある大学院教育」イニシアティブを、①新しい知の統合や学際的学融合的な新分野の創成とその大学院教育への還元、②研究の高度化と高度職業人養成、社会的ニーズに応じた高度の実践力をもった人材養成との結合、③研究と教育の国際化のいっそうの促進、④大学院教育における学生の能動性のいっそうの発揮、などの努力に飛躍をもたらす機会と位置づけている。本プログラムの実施をサポートする全学的施策を講ずる他、2年間のプログラム終了後も、当該研究科・専攻の自主的な努力に加え、全学的なレビューを経て大学としても資源を投入するなどの努力を集中して継続することをめざす。</p> | | | |

| 機 関 名 | 東京大学 | 整理番号 | b009 |
|---|------|------|------|
| <p>5-(2) これまでの教育研究活動の状況(現在まで行ってきた教育取組について)</p> <p>情報理工学系研究科では、2001～2005年に科学技術振興調整費による「戦略ソフトウェア人材養成プログラム」を実施中である。このプログラムでは、本学内外の博士後期課程学生等を対象とし、毎年6名という少数精鋭の高度なソフトウェア創造力を有する若手人材の養成を行ってきた。2002～2006年度には21世紀COEとして「情報科学技術戦略コア」を実世界情報処理、大域ディペンダブル情報基盤、超ロバスト計算原理を主要3テーマとして実施中である。このプログラムでも博士後期課程学生を中心に国際的な研究者の育成を図っている。また、研究科では2002年より産学連携ARAプログラムを運用しており、企業との連携推進を図り、実践的情報技術の教育研究を促進してきている。</p> | | | |
| <p>5-(3) 魅力ある大学院教育への取組・計画(大学院教育の実質化(教育の課程の組織的展開の強化)のための具体的な教育取組及び意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画について)</p> <p>情報理工学系研究科では2001年設置時の5専攻を横断的に繋ぎ、情報科学技術分野において実践的創造力の面から人材育成の新たな展開を目指す6番目の専攻として、創造情報学専攻を2005年4月に開設した。この新専攻は、我が国の大学の情報科学技術分野の大学院教育が学術面の研究能力養成に重点が置かれてきて、十分ではなかった点を質的に改善し、社会的、産業的実用価値のある新規で卓越したソフトウェアやシステムを作成する高度な実践的創造力の涵養を目指している。実践的創造力に重点を置くため、日常的に多様な産官学交流が可能な日本の都市型IT研究開発拠点として計画された秋葉原クロスフィールドに拠点を置き、その一翼を担う重要な役割を果たしている。</p> <p>本教育プログラムは、創造情報学専攻を中核として情報理工学系研究科の実践的創造力の教育を研究科のすべての専攻にも広げ、情報科学技術分野における創造力の強化、定着を図るものである。この構想は、IT分野で世界を牽引している米国のトップクラスの大学の情報科学技術分野大学院教育に比べて、我が国の大学、特にトップクラスの大学でこれまで不十分であった面に光を当てて新しい価値観を与え強化を図るものであり、そこで育ち新しい価値観と能力を有する人材は、産業も含めて情報科学技術分野の新たな開拓者、牽引者になるものとする。</p> | | | |

6. 履修プロセスの概念図



| 機 関 名 | 東京大学 | 整理番号 | b009 |
|--|------|------|------|
| <p data-bbox="165 199 588 232">< 審査結果の概要及び採択理由 ></p> <p data-bbox="165 293 1428 472">「魅力ある大学院教育」イニシアティブは、現代社会の新たなニーズに応えられる創造性豊かな若手研究者の養成機能の強化を図るため、大学院における意欲的かつ独創的な研究者養成に関する教育取組に対し重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化（教育の課程の組織的な展開の強化）を推進することを目的としています。</p> <p data-bbox="189 488 491 521">本事業の趣旨に照らし、</p> <p data-bbox="189 533 1428 613">①大学院教育の実質化のための具体的な教育取組の方策が確立又は今後展開されることが期待できるものとなっているか</p> <p data-bbox="189 629 1225 663">②意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画となっているか</p> <p data-bbox="165 678 1428 857">の2つの視点に基づき審査を行った結果、当該教育プログラムに係る所見は、大学院教育の実質化のための各項目の方策が、優れており、期待できるとともに、教育プログラムが事業の趣旨に適合しており、その実現性、一定の成果と今後の展開の面も期待できると判断され、採択となりました。なお、特に優れた点、改善を要する点等については、以下の点があげられます。</p> <p data-bbox="177 918 635 952">〔特に優れた点、改善を要する点等〕</p> <ul data-bbox="172 967 1409 1146" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="172 967 1409 1048">・専攻の目的である「情報技術分野における高度で実践的想像力を有する研究者の養成」に即した、体系的な教育課程が編成されている。 <li data-bbox="172 1064 1409 1146">・ただし、従来からの枠組みにおいても実施可能とも見られるため、実践的という視点に立った、より新規性のある具体的な計画を示す必要がある。 | | | |